

山北町就学前カリキュラム

山 北 町

山北町教育委員会

平成28年9月

はじめに

近年、「乳幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期である」との認識が広まり、この時期の経験や生活の重要性について関心が高まっています。

また、平成 28 年 8 月の中央教育審議会まとめでは、幼児教育でめざす資質・能力の 3 つの柱について整理し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、「健康な心と体」「自立心」「協働性」「道徳性・規範意識の芽生え」など、具体的な 10 項目が提示されました。

しかし、これらの項目は個別に取り出されて指導されるのではなく、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねながら、とりわけ「自発的な遊び」をとおしてこれらの姿が育っていくと述べられています。

これらの社会の流れを受けて、山北町では、新たなカリキュラムを作成しました。これは、新しく認定こども園が誕生するこの機会に、山北町の子どもたちが、それぞれの園舎は異なろうとも、共通理解を図った教育課程に基づいて、連携した乳幼児期の教育・保育が行われることが大切であると考えたからです。

そして、それぞれの園で育った子どもたちが、スムーズに就学できるよう、小学校でのスタートカリキュラムとの連携を意識した、幼稚園・保育園・認定こども園の「共通カリキュラム」づくりに取り組んできました。

本カリキュラムでは、乳幼児期の教育・保育ともに、「心と体の健康」「人とのかかわり」「環境とのかかわり」「言葉の育ち」「感性と表現」という共通した 5 つの視点で、0 歳児の 1 期からスタートカリキュラムの 20 期までを構成しています。そして、それぞれの発達の段階に応じた指導を積み重ね、5 歳児修了時には、山北町における乳幼児期教育・保育の「めざすこども像」へと育っていくことを願っています。

「山北町だからこそできること」を大切にしながら、このカリキュラムが就学前施設における指導の基本となり、さらにそれぞれの園において創意工夫した乳幼児の教育・保育が行われることで、私たちの町「山北の子どもたち」の学びと育ちがより充実したものとなることを期待しています。

山北町における乳幼児期教育・保育の 「めざすこども像」

○「明るく元気で思いやりのある子」

- ・ 基本的な生活習慣を身につけ、体を動かして遊ぶ
- ・ 自分のことも相手のことも大切にする
- ・ あいさつや「ありがとう」などの気持ちを素直に言える

○「自分で考えて表現する子」

- ・ いろいろなことに興味や関心を持ち、夢中になって遊ぶ
- ・ 生活や遊びの中で、きまりのあることの大切さに気づき、自分で考えて行動する
- ・ 思ったことを伝え、人の話をよく聞く

○「自然に親しみ、地域とのふれあいを大切にする子」

- ・ いろいろな体験を通して感性を豊かにする
- ・ 命あるものを大切にする
- ・ 身近な自然にかかわり、楽しんだり考えたりする

【0歳児】

育てたい 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特定の保育者との間に信頼関係を築き、様々な欲求を表現する心地よさを味わい、生活のリズムができる。 ○ 体の機能の発達とともに探索行動が現れ、周りの環境に興味をもってかかわっていきこうとする。 		
期	第1期		
	前期	中期	後期
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康で安全な生活を送るなかで、安心して過ごす。 ・ 生まれながらにもっている力を働かせ、周りの環境とかかわりながら発達していく。 		
内容 (発達 の現れ)	心と体の 健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の発達状況に合った活動を十分に行う。 (首がすわる・寝返り・腹ばい 等) (座る、はう、立つ、伝い歩き 等) (歩く、押す、つまむ、めくる 等) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 食欲、睡眠、排泄等生理的欲求を満たし、清潔で気持ちの良い生活を送る。 (短い眠りを繰り返す) (午前と午後の2回寝が多くなる) (午後1回の睡眠) (睡眠時間が一定する) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 授乳、離乳から食べる体験を重ねていく。 (授乳期) (離乳食 初期・中期・後期⇒普通食へ) (手づかみ食べ⇒食具を使って食べる) 	
	人との かかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の保育者と応答的関係を結びながら、愛着や信頼関係を築いていく。 (聞き覚えのある声に反応し、あやすと喜ぶ) (人見知りが始まる) (身近な人に自発的に働きかけ始める) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意志や欲求を声やしぐさで伝えようとする。 	
	環境との かかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心できる人的及び物的環境の下で、聞く、見る、触れる等の感覚遊びをする。 (目の物を追視する) (触れた物を口に入れる) (手で玩具を持ち替える) (指先でつまむ) (指先でたたく、ひく、ねじる) ・ 天気の良い日は戸外で遊ぶことを楽しみ、外界への関心を広げる。 	
	言葉の 育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優しい語りかけの中で、言葉をかけられる心地よさを味わう。 ・ 喃語や片言を優しく受け止められ、返してもらいながら発語を楽しむ。 (あやしにに応じ喃語や声を発する) (簡単な言葉の意味がわかり動作で示す) (思いを身ぶりや片言で伝える) 	
感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く、見る、触れる等の経験を通して感覚器官(目鼻耳舌皮膚)や指先の機能の働きを促す。 ・ 保育者の歌を楽しんで聞いたり、リズムに合わせて手足を動かしたりして楽しむ。 ・ 一人ひとりの発達状況に即した玩具で、保育者と一緒に遊んだり見守られたりしながら一人遊びを楽しむ。 		
環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生命の保持に特に配慮が必要な時期であることを常に心に留め保育する。 ・ 一人ひとりの体質や病気、発達、家庭環境等をよく理解する。 ・ 職員間で個々の子どもの理解を図り、連携を取り合いながら保育を進めていく。 ・ 子どもとの信頼関係を築き、応答的にかかわっていく。 ・ 温度や湿度、身の回りの環境に気を配り、健康で快適な生活が送れるようにする。 ・ 離乳食の対応は一人ひとりの子どもの発育、発達に応じて行う。 ・ 睡眠にあたっては、保育室から離れることなく、状態を観察する。 		
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症にかかることが多いので、保護者と連携を取りながら健康状態の把握をしっかり行い、変化に気づくようにする。 ・ 保護者との信頼関係を築きながら保育を進めるとともに、保護者からの相談に応じた支援に努めていく。 ・ 地域の自然・文化・人々とかかわる機会を保育に取り入れていく。 ◎ 外国語を通して異文化に親しむ。(ALT) ◎ 山北町の地場産物に触れ、食することを楽しむ。 ◎ 山北町の歴史に触れる。(D52・祭囃子等) 		

【1歳児】

育てたい 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○自我が芽生え、したいこと、してほしいことをしぐさや簡単な言葉で表現する。 ○いろいろなことに興味をもって探索活動を楽しむ。 		
期	第2期		
	前期	後期	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整えられた環境の中でリズムのある生活を送りながら、快適に過ごせるようにする。 ・ 好奇心が刺激される環境の中で、意欲をもって遊びを楽しんでいく。 		
内容	心と体の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十分に体を動かし、歩行や探索を楽しむ。 ・ 生理的欲求や依存欲求が満たされ、情緒豊かな生活を送る。 ・ さまざまな食べ物に親しみ、食べようとする気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で食べようとする気持ちを持ち、食事を楽しむ。
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の見守りの中で身の回りの人に興味をもち、かかわろうとする。 ・ 保育者とかわり、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者と信頼関係を深めていく。
	環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩や戸外遊びを通して自然に触れ、探索活動を楽しむ。 ・ 安全で活動しやすい環境の中で、好きな玩具や遊具で遊ぶ。 	
	言葉の育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本を保育者と一緒に楽しみながら、簡単な言葉を繰り返したり模倣したりする。 ・ 欲求を身近な大人にしぐさで伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意思を片言等で周りの人に伝えようとする。
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単なリズム遊び、つもり遊び、見立て遊びを楽しむ。 ・ 保育者のまねをして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しぐさや片言等で自分の感じたことを表現しようとする。
	環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人ひとりの発達状況や個人差を把握し、その子に合わせた遊びを楽しむことができるようにする。 ・ 行動範囲が広がり探索活動が活発になるので、危険のないように気をつけ、子どもの動線に留意して環境を整える。 ・ 食欲に個人差や苦手な物が出てくる時期なので、一人ひとりに合った配慮や援助を心がける。 ・ 職員間で個々の子どもの理解を図り、連携を取り合いながら保育を進めていく。 	
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症にかかることが多いので、保護者と連携を取りながら健康状態の把握をしっかりと行い、変化に気づくようにする。 ・ 保護者との信頼関係を深めるために子どもの様子を伝え、コミュニケーションをはかる。 ・ 個々の発達に合わせた援助の仕方を伝え、成長の過程を共感し合い保護者が自信をもって子育てができるようにする。 ・ 地域の自然・文化・人々とかかわる機会を保育に取り入れていく。 ◎ 外国語を通して異文化に親しむ。(ALT) ◎ 山北町の地場産物に触れ、食することを楽しむ。 ◎ 山北町の歴史に触れる。(D52・祭囃子等) 		

【2歳児】

育てたい 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育者が見守る中で身の回りのことが自分でできるようになり、周りの人とのかかわりを楽しむ。 ○ 生活や遊びの中で行動範囲を広げ、自然に親しみをもつ。 		
期	第3期 (4月～12月)	第4期 (1月～3月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りのことに興味や関心をもつ。 ・ 自然に触れてあそぶ中で見たりさわったりする。 ・ 生活や遊びの中で模倣遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者が見守る中で安心して簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・ 身近な環境に親しみ興味や関心をもつ。 ・ 様々な経験を通して言葉のやりとりを楽しみ、友だちとかかわって遊ぶ楽しさを知る。 	
内容	心と体の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な遊びの中で十分に体を動かす。 ・ 保育者や友だちと食べることを楽しむ。 ・ 保育者の言葉がけで危険なことを知り安全への意識づけをする。 ・ 簡単な衣服の着脱を自分でしようとする。 ・ 保育者に見守られながら排泄する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全の習慣が身につく。 ・ 衣服の着脱、排泄等の生活習慣を身につける。
	人とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の簡単なあいさつをしようとする。 ・ 安心できる保育者との関係の下で、身近な大人や友だちに関心をもち愛情や信頼感をもつ。 ・ 保育者の仲立ちによって遊具を大切に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いを言葉や身ぶりで伝えながら、友だちと遊ぶ中で相手の気持ちに触れる。 ・ 保育者とかかわりの中で良いこと悪いことに気づくようになり行動しようとする。
	環境とかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然に触れて遊ぶ中で大きさ、美しさ、不思議さ等に気付く。 ・ 生活の中で様々な物に触れ、身近な自然事象に関心をもち受け入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近なものを大切にする。 ・ 身近な環境に自分からかかわり発見をして楽しんだりし、生活に取り入れようとする。
	言葉の育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりする。 ・ したいこと、してほしいことを身ぶりや簡単な言葉で表現しようとする。 ・ 生活や遊びの中で簡単な言葉のやりとりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に必要な簡単な言葉を聞き分け、また様々な出来事に関心を示し言葉で表そうとする。 ・ 自分の気持ちを言葉で表そうとして人や事物等の模倣をしたり経験したことを思い浮かべたりして、模倣遊びを楽しむ。
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌ったりリズムに合わせてたり、体を動かすことを楽しむ。 ・ 生活の中で様々な音・色・形・手触り・動き等に気づいたり感じたりする。 ・ 砂・水・土・紙等色々な素材に親しみ遊ぶ。 ・ 保育者や友だちと遊ぶ中で模倣遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活や遊びの中でつまむ、丸める、めくる等手や指を使う。 ・ 気持ちや感じたことを自分なりに表現しようとする。
	環境構成と援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症にかかりやすい時期であるため、体の状態、機嫌、食欲等の日常の状態の観察を十分に行うとともに、適切な判断に基づく保健的な対応を行う。 ・ 家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるよう一人ひとりの気持ちを受け止める。 ・ 探索活動が十分できるように事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え全身を使う遊び等、様々な遊びを取り入れていく。 ・ 自我の育ちを見守り、その気持ちを受け止めるとともに保育者が仲立ちとなって、友だちの気持ちやかかわりかたを丁寧に伝えていく。 ・ 情緒の安定を図りながら子どもの自発的活動を促していく。 ・ 3歳児との交流をもつ。 	
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の思いや意向、要望、悩みや不安等に対して丁寧に聞き信頼関係を深めていく。 ・ 職員間で常に子どもの様子や家庭状況を把握し、保護者に園の様子を丁寧に伝える。 ・ 3歳児クラスに向けて、基本的な生活習慣の自立の確認を行うとともに保護者への説明をしっかりと行う。 ・ 子どもたちが地域・自然・文化・人々とかかわる機会を取り入れていく。 ◎ 外国語を通して異文化に親しむ。(ALT) ◎ 山北町の地場産物に触れ、食することを楽しむ。 ◎ 山北町の歴史に触れる。(D52・祭囃子等) 		

【3歳児】

育てたい 子どもの姿		○園生活の流れがわかり、基本的な生活習慣を身に付ける。 ○様々なことに興味を持ち、好きな遊びに意欲的に取り組み、見たり触れたり試したりする喜びを味わう。				
期		第5期 (4月～5月)	第6期 (6月～8月)	第7期 (9月～10月)	第8期 (11月～12月)	第9期 (1月～3月)
ねらい		・喜んで登園し、保育者に親しみを持つ。 ・園生活の流れを知り、生活リズムに慣れる。	・園での生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。 ・自分の好きな遊びを十分に楽しみながら、友だちのしていることにも興味を示す。	・友だちや保育者とかかわりながら好きな遊びを楽しむ。 ・身近な自然に触れながら関心を持つ。 ・保育者や友だちと身体を動かすことを楽しむ。	・経験したこと、感じたこと、想像したこと等をさまざまな方法で表現する。 ・友だちと一緒に同じ遊びをする楽しさを味わう。	・基本的な生活習慣が身につく、自信を持ってのびのびと行動する。 ・大きくなる喜びと進級に対する期待を持って生活する。
内容	心と体の健康	・園での生活の仕方がわかり、安心して過ごす。 ・給食やおやつ等を、楽しく食べられるようになる。	・身の回りのことを自分でしようとし、できないことを保育者に伝えようとする。 ・保育者や友だちと一緒に食事をすることを楽しむ。 ・保育者や友だちに親しみを持つ。	・戸外で保育者や友だちと十分に身体を動かして遊ぶ。 ・保育者や友だちと身体を動かすことを楽しむ。一緒に活動する楽しさを味わう。	・手洗い、うがい、着脱、排泄等の手順を理解し、自分からしようとする。	・全身を使った遊びを十分に寒くても元気よく過ごそうとする。
	人とかかわり	・自分のクラスがわかり、担任や友だちに親しみを持つ。	・自分の好きな遊びに喜んで取り組む中で友だちのすることを見たり、真似たりしながら一緒に遊ぼうとする。	・行事を通して異年齢児と触れあい、楽しさを共に感じたり、年長児に対する憧れを感じたりする。	・友だちと一緒に遊ぶことを喜ぶ。	・異年齢児との遊びを楽しみながら、その経験を自分たちの遊びに活かしていく。 ・友だちと一緒に行動することを楽しむ。
	環境とかかわり	・自分のものをしまっておく場所がわかり、簡単な身の回りのことを保育者に手伝ってもらいながら自分で行う。 ・春の自然に触れる。	・砂、水遊び等開放感のある遊びを十分に楽しむ。 ・梅雨期の自然の変化に興味を持つ。	・季節を感じながら自然に触れる。	・自分のしたい遊びを見つけ、それに必要な遊び道具や材料等を自分で選び、遊ぼうとする。 ・秋の自然に触れて遊ぶ。	・冬から春に向けての自然に触れながら、季節の遊びを楽しむ。 ・遊んだ後、片づけをするときれいになる心地よさを感じる。
	言葉の育ち	・したいこと、してほしいことを保育者に言葉や動作で伝えようとする。 ・絵本や紙芝居に親しむ。	・自分の経験したことや思いを保育者に話そうとする。	・自分の思いを保育者や友だちに身体や言葉で伝える。	・自分の気持ちや困っていること、してほしいこと等を、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。	・身の回りの興味のある出来事等を保育者や友だちに喜んで話す。
	感性と表現	・歌や手遊び等を楽しむ。	・友だちと一緒にうたうことを楽しむ。	・友だちや保育者と走ったり、思いきり身体を動かしたりする心地よさを体験する。	・イメージしたものになりきり、物や場を見立てたり、リズムに合わせて身体を動かしたりして遊ぶ。	・嬉しいことや悲しいこと、思ったことを言葉に出して表現する。 ・ごっこ遊びを通して言葉のやり取りを楽しんだり必要なものを作ったりして遊ぶ。
環境構成と援助		・家庭的な雰囲気をつくり、ゆったりと安心して過ごせるようにする。 ・一人ひとりをあたたかく受け入れ、名前を呼び掛け、手をつないだりスキンシップを取ったりしながら、安心できるようにする。	・開放感を味わい、のびのびと楽しめるように遊具や素材の出し方、場の構成を工夫し、遊びが持続していくようにする。 ・一人ひとりの自分でしようとする気持ちを大切に、できた時は認めて自信を持てるようにしていく。	・身体を動かす遊びを多く取り入れ安全面に留意しながら、時間や空間を工夫し、のびのびと遊べるようにする。 ・思いを伝え合う喜びを経験できるように子どもの発見や感動を温かく受け止め共感する。	・一人ひとりの興味や関心に合わせて遊びに使うものが自由に使えるように用具を幅広く用意する。 ・自分からやってみようという気持ちを認めて励ましたり、時には援助したりしながら子ども自身のやる気を引き出せるようにする。	・異年齢児との遊びに興味関心をもたせるとともに自分たちの遊びを作り出せる環境を整える。 ・一人ひとりが自分なりにのびのびと充実した園生活が送れているかを把握する。また、一人ひとりの成長を認め自信を持てるようにする。
家庭・地域との連携		・保護者に安心してもらえるよう、園での様子を話したり、家庭の様子を聞いたりする機会を持ち、信頼関係を築いていく。 ・生活、環境の変化で緊張や疲れが出やすいので、健康管理に気をつけてもらう。	・園生活の中で自分で取り組もうとする姿を伝えていく。また、家庭でも子どもが身の回りのことに取り組もうとする意欲を大切にもらう。 ・水遊びが始まるので、一人ひとりの健康状態を把握し、保護者との連携を密にしておく。	・運動会等では一緒に参加しながら、3歳児の成長を理解してもらう。 ・気温や運動量に応じて子どもが調整しやすい衣服の着用をお願いする。	・行事に参加して楽しみながら子どもの成長に気付いたり親子の触れあいの大切さを感じ取ったりしてもらう。 ・風邪等が流行してくる時期なので、家庭でも予防のため手洗いやうがい等を心がけてもらえるように伝える。 ・寒さに向かった健康管理の方法と必要性を伝える。	・自己主張や自立心が強くなるが、まだ甘えたい気持ちもあることを理解して温かく受け止めるよう家庭と園での連携を取り合う。 ・子どもたちの様子を保護者と共に振り返り子どもの成長を喜び合い、保護者の協力に対して感謝の気持ちを伝える。
<p>・年間を通して山北町の四季折々の自然に触れられるような園外保育を計画していく。その中で地域の人と挨拶を交わしたり、人の優しさに触れたりして地域とかかわりを大切にしていく。</p> <p>・日本ならではの伝統行事や、山北町ならではの行事等に触れる機会を設けていく。</p> <p>・保育を地域に発信していくと共に、地域との交流に努めていく。</p> <p>◎ 外国語を通して異文化に親しむ。(ALT)</p> <p>◎ 山北町の地場産物に触れ、食することを楽しむ。</p> <p>◎ 山北町の歴史に触れる。(D52・祭囃子等)</p>						

【4歳児】

育てたい子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な遊びに興味を持ち、保育者や友だちとかかわりを広げる中で遊びの経験を積み、いろいろな方法で表現する。 ○ 身近な社会や自然の事象に興味や関心もち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。 				
期		第 10 期 (4月～5月)	第 11 期 (6月～8月)	第 12 期 (9月～10月)	第 13 期 (11月～12月)	第 14 期 (1月～3月)
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・ 園生活に慣れ、生活の仕方がわかりできることは自分ですようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外で身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 身近な自然に触れて、見たり遊んだりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者や友だちとかかわりながら遊ぶ中で、自分の考えや思いを表し、遊びを楽しむ。 ・ 身体を動かす遊び等、様々な活動に積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な活動の中で、友だちと触れあって、遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 身近な自然に親しみ、興味を持って見たり、考えたりして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びのイメージを友だちと共有しながら、自分たちで遊びを進める楽しさを知るようになる。 ・ 年長児とのかかわりを通して、進級への喜びや期待を持つ。
内容	心と体の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者と一緒に身体を動かして遊ぶことを楽しみ、安心して過ごす。 ・ 園の遊具や用具に親しみ安全な遊び方や扱い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨時や夏を健康に過ごすために必要な生活の仕方を知る。 ・ 夏ならではの遊びを楽しみ、心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな遊具や用具を使い戸外で友だちと一緒に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・ 健康な生活に必要な習慣を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外での遊びに進んで参加し、十分に身体を動かす楽しさを味わう。 ・ 友だちと楽しく生活する中で決まりの大切さに気付き守ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできることは自分で行い、基本的な生活習慣を身につける。 ・ 寒さに負けず、戸外で全身を思いきり動かして遊び、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
	人とかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちと同じことをしたり触れあったりして楽しむ。 ・ 保育者に親しみを持ちかかわって遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・ 友だちに親しみを持ち、かかわって遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同の遊具や用具を友だちと一緒に大切に使用したり片付けたりする。 ・ 簡単な決まりやルールの大切さに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちと遊びの場を作り、具体的なイメージを持って遊ぶ。 ・ 友だちの表現を喜んで見たり聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの気持ちを受け入れながら自分の考えを伝えていく。 ・ 年長児との活動を通して、感謝の気持ちや進級への期待感を持つ。
	環境とかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外で身近な自然に触れ心地よさを味わう。 ・ 身近な用具や遊具等の扱い方を知りそれを使って遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土や砂、水の感触を味わいながら自分なりに試したり発見したりして楽しむ。 ・ 身近な自然に触れて遊び、親しみを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然や生き物に関心を持ち、遊びの中でかかわりながら季節感を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の美しさに触れて感動したり自然物を使ったりして遊ぶことを楽しむ。 ・ 自然物や身近な事象を通して数・量・形・色等に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬の自然事象に興味や関心を持ち、感動したり疑問を持ったりする。 ・ 日本ならではの伝承遊びに触れる。
	言葉の育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本や紙芝居を見たり聞いたりして楽しむ。 ・ してほしいことや困ったこと等を保育者にいろいろな方法で伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者や友だちにしたいことやしてほしいことを言葉で伝える。 ・ 日常生活や友だちと遊びの中で必要な言葉の使い方に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本や紙芝居に親しみ、興味を持って見たり、聞いたりする。 ・ 経験したことや感じたことを話し、保育者や友だちとも会話を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味を持った言葉を楽しんで聞いたり言ったりする。 ・ 絵本や童話、視聴覚教材等を喜んで見たり使ったりしていろいろな表現を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの中で、自分で思ったり、考えたりしたことを言葉で相手に伝えられるようにする。
	感性と表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌をうたったり手遊びをしたりして楽しむ。 ・ 自由に描いたり作ったりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近にあるいろいろな素材や用具に親しみ描いたり作ったりすることを楽しむ。 ・ 身の回りの自然現象に興味を持ち不思議さや美しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲に合わせてのびのびと身体を動かし、感じたままを表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌や楽器に触れる楽しさを味わう。 ・ 感じたこと考えたことを言葉で伝え、保育者や友だちに受け止めてもらった喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりして、それを使って友だちと遊ぶ。
環境構成と援助		<ul style="list-style-type: none"> ・ 園は安心して、楽しい所であると感ぜられるよう、一人ひとりが落ち着ける場を用意する。 ・ 保育者は一人ひとりの子どもを温かく受け止め触れあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然と十分に触れあいが持てるように環境を構成するとともに、静と動のバランスを考え、気持ちを発散できるように工夫する。 ・ 一人ひとりの気持ちを受け止め十分に自己発揮できるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具や用具の使い方や安全への配慮を心がけ、十分に運動あそびができるようにする。 ・ 一生懸命頑張っている姿や、子ども同士の認め合いを大切にしながら満足感を味わえるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども同士と一緒に活動する楽しさを味わい誘い合い刺激し合えるような交流の場を設ける。 ・ 徐々に直接的な介入を控え、友だちとのかかわりを尊重し自分たちで活動する喜びが味わえるよう援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年長児との交流ができる場の設定をし、いろいろな遊びや生活、仕事等の引き継ぎがスムーズに行われるようにする。 ・ クラスとしての仲間意識を高め、協力して遊ぼうとする気持ちを育てていく。
家庭・地域との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの緊張と不安を十分に受け止めるとともに、安心して登園できるように保護者から家庭での様子を聞き信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園での生活や遊びの様子を通して、子どもの成長を相互理解し、共に子育てをしていく意欲を支える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者が子どもと一緒に活動を楽しむことを通して、子どもの成長の様子や取り組みもうとしている姿、子どもの遊びが理解しやすいように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者同士で話し合う機会を持つようにし、関係作りに配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な習慣や態度、進級に向けて等保護者に伝え、共に期待が持てるようにしていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して山北町の四季折々の自然に触れられるような園外保育を計画していく。その中で地域の人と挨拶を交わしたり、人の優しさに触れたりして地域とかかわりを大切にしていく。 ・ 日本ならではの伝統文化や、山北町ならではの行事等に触れる機会を設けていく。 ・ 保育を地域に発信していくと共に、地域との交流に努めていく。 ◎ 外国語を通して異文化に親しむ。(ALT) ◎ 山北町の地場産物に触れ、食することを楽しむ。 ◎ 山北町の歴史に触れる。(D 5 2・祭囃子等) 						

【5歳児】

育てたい子どもの姿		○年長児としての自覚を持ち、生活や遊びの中で、きまりのあることに気付き、自分で考えて行動する。 ○園生活を通して、友だちの思いや良さに気付き、仲間と一緒に一つの目標に向かい、達成感や充実感を味わう。					
期		第 15 期 (4月～5月)	第 16 期 (6月～8月)	第 17 期 (9月～10月)	第 18 期 (11月～12月)	第 19 期 (1月～3月)	(第20期) 小学校入学後
ねらい		・年長児になった喜びを感じながら、生活や遊びに取り組む。	・友だちと一緒に目的を持って遊びを進め、友だちとの繋がりを深める。	・共通の目的に向かって仲間と意欲的に取り組む。	・友だちと考えを出し合い、試したり工夫したりして、活動を進める。	・様々な活動の中で友だちと協力して遊んだり、認め合ったりしながら意欲的に過ごす。 ・一年生になることへの期待を持ち、自信を持って生活する。	
内容	心と体の健康	・のびのびと身体を動かすことを楽しむ。 ・友だちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時等の行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。	・水分補給や汗の始末を自分で気付いて行う。 ・水の感触や心地良さを味わい、様々な動きを楽しむ。	・進んで戸外に出て、十分に身体を動かす。 ・友だちと一緒にやり遂げ、達成感を感じる。	・うがい、手洗い、衣服の調節を進んでする。 ・自分なりの目的に向かって取り組み、充実感や満足感を味わう。	・寒さに負けず、身体を十分に動かして遊ぶ。 ・園生活を楽しみ、友だちと一緒に就学への期待を持って過ごす。	
	人とのかかわり	・友だちや保育者に親しみをもち、気の合う友だちと遊ぶ楽しさを味わう。 ・異年齢児にかかわり、親しみをもち。	・友だちの刺激を受けながら、試したり工夫したりして遊ぶ。 ・気の合う友だちと遊びを進める楽しさを味わう。	・仲間と共通の目的に向かって、話し合ったり考えを出し合ったりしながら、遊びを進めていく。 ・様々な運動用具や遊具を使い、友だちと工夫して遊びを発展させる。	・仲間と遊びが楽しくなるようにルールを決めたり工夫したりする。 ・友だちの考えを受け入れながら遊びを広げていく。	・友だちと考えを出し合いながら、遊びが楽しくなるよう工夫する。 ・友だちの成長や良い面に気付き、喜びあったり、認め合ったりする。 ・異年齢児に生活の仕方や、遊びを伝える。	
	環境とのかかわり	・動植物に親しみをもちたり、世話をしたりする。 ・身近な物や遊具に興味を持ってかかわり、工夫して遊ぶ。	・梅雨期の自然に触れ、季節の変化や不思議さに興味を持つ。 ・動植物の世話を通して親しみをもち、命の大切さを知る。 ・水、砂、泥等の感触を味わい、遊びを発展させていく。	・遊びに必要な環境を自分たちで進んで用意しようとする。 ・身近な植物の変化から、夏から秋への移り変わりを感じる。	・身近な自然に触れ、季節や生活の変化に気付き、興味を持つ。 ・自然物を使って様々な遊びを楽しむ。	・冬の自然に関心を持ち、それを取り入れて遊んだり、動植物の生長にも関心を持ちたりする。 ・日本ならではの伝承遊びや異文化に触れる。	
	言葉の育ち	・自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりして、友だちと遊ぶ楽しさを味わう。	・気の合う友だちと遊ぶ中で、考えを出し合い遊ぶ楽しさを味わう。 ・友だちと一緒にトラブルや課題について話し合い、乗り越えていこうとする。	・自分で経験したことや思ったことを、相手にわかるように話す。 ・友だちの頑張りや気付き、認められたりする中で、心動かす出来事に触れ、言葉を豊かにする。	・年末年始ならではの遊びや生活を通して、文字等で伝える喜びや、楽しさを味わう。 ・絵本や物語に親しみ、自分の感じたことや、イメージを言葉で表現する。	・日本ならではの文化に触れ、文字や数字に興味を持つ。 ・感謝の気持ちを伝えたり伝えられたりする。	
	感性と表現	・感じたり考えたりしたことを自分なりに表現しようとする。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な方法で表現する。	・水に親しみ、自分なりのイメージを表現する楽しさを味わう。 ・友だちの表現に興味を持ってみたり、一緒に表現したりすることを楽しむ。	・遊びに必要な物を考え、工夫して作る。 ・進んで戸外に出て十分に身体を動かし、リズムに合わせて表現することを楽しむ。	・友だちとイメージを共有しながら、一緒に表現することを楽しむ。 ・歌や簡単な合奏を、友だちと一緒に楽しむ。	・今までの経験を活かし、工夫して作ったり、描いたりすることを楽しむ。 ・友だちと気持ちを合わせて、歌や言葉で表現する。	
環境構成と援助		・子どもと一緒に生活や遊びの場を考え、安定した気持ちで活動できるようにする。 ・一人ひとりの心の動きや活動を見守り、年長児としての自覚が持てるようにする。	・遊びの中で一人ひとりが自分の考えや力を出せるよう、個々の良さを周りの子どもに伝え、互いに認め合えるようにしていく。	・子どもたちが相談したり協力したりしながら、生活や遊びが楽しめるように、場や時間の工夫をする。 ・自分なりの目的を持ち、繰り返し挑戦できるように励ましたり認めたりする。	・子どものイメージが実現できるように材料や道具を一緒に用意する。 ・子ども同士で考え合い、創りだしていく過程を大切に、友だちと力を合わせてやり遂げる達成感を味わえるようにする。	・就学に向けての様々な経験の中で、就学への期待が高まっていくように、一人ひとりの気持ちを受け止め、それぞれに合った援助をしていく。	
家庭・地域との連携		・家庭での子どもの様子を聞いたり、園での様子を具体的に伝えたりして、コミュニケーションを図り、関係づくりをしていく。 ・年間を通して山北町の四季折々の自然に触れられるような園外保育を計画していく。その中で地域の人と挨拶を交わしたり、人の優しさに触れたりして地域とのかかわりを大切にしていく。 ・日本ならではの伝統文化や、山北町ならではの行事等に触れる機会を設けていく。 ・保育を地域に発信していくと共に、地域との交流に努めていく。 ◎ 外国語を通して、異文化に親しむ。(ALT) ◎ 山北町の地場産物に触れ、食することを楽しむ。 ◎ 山北町の歴史に触れる。(D52・祭囃子等)	・体調や生活リズムを崩しやすいので規則正しい生活と十分な休息の大切さを知らせる。	・子どもと一緒に喜び、成長が感じられるよう、子どもたちの取り組みや様子を保護者に伝えていく。	・園生活の取り組みの様子や予定等を知らせ、子どもの気持ちや経験していることに家庭でも関心を持ち、気持ちを受け止めてもらえるようにする。	・小学生との交流を通して、親しみをもち、一人ひとりの成長を共に喜び、保護者や子どもも就学への期待が持てるようにする。	

小学校によるスタートカリキュラムの開始